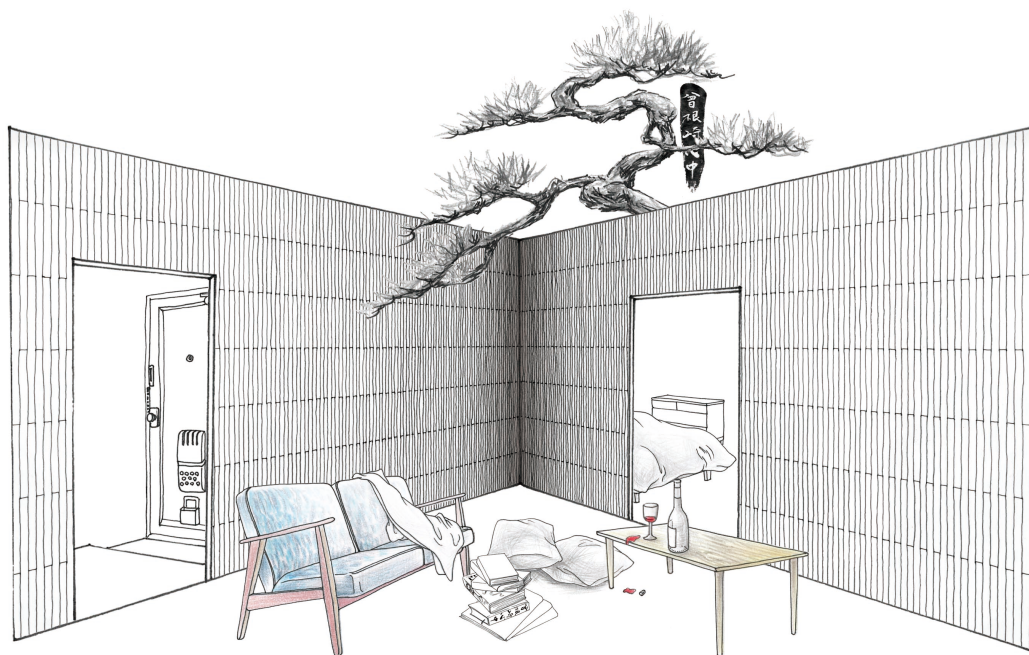


ギャラリー小柳 展覧会のご案内

# 束芋 息花

**Tabaimo: ikihana**

2015.2.14 (Sat) – 4.4 (Sat)



報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度、ギャラリー小柳では2月14日（土）から4月4日（土）の会期で、東芋の新作個展「東芋：息花」を開催いたします。

東芋は、アニメーションを用いた映像インスタレーション作品「にっぽんの台所」（1999年）で一躍注目を集め、以降、国内外の美術館における個展開催やグループ展への参加、最年少で招聘された「横浜トリエンナーレ 2001」をはじめ、2011年にはヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家として選出等、数々の国際展に招聘され、着実にキャリアを積みながらますます活躍の幅を広げています。近年は、現代舞踏や伝統芸能とのコラボレーションやバンド活動など、さまざまなジャンルでその才能を発揮しています。

今回、東芋は、待望の新作アニメーション作品「あいたいせいじょせい」と、新作ドローイング、7点を本展で初公開いたします。

「あいたいせいじょせい」は、近松門左衛門作『曾根崎心中』の主人公「お初」と「徳兵衛」、そして吉田修一の小説『悪人』の登場人物「金子美保」と「清水祐一」等の恋愛にちなみ、「お初」と「金子美保」との比較の中で生まれてくるストーリーです。モチーフはソファとテーブル。東芋の創り出す「もしも・・・」の世界、それは物語の終焉の先への想像をかき立てることでしょう。

タイトル「あいたいせいじょせい」は東芋による造語です。東芋は、大正年間に「相対性理論」という言葉が訳された折「相対（あいたい）」が男女の仲を意味し、しかも「性」の文字がついたことから世間の誤解を招いたことや、「相対死に」という心中を連想させたという話から着想を得、「相対性」の中にいる女性2人という意味で「相対性女性」という言葉を作りました。「相対」を、（相対死に）や（会いたい）という意味も含めたいと、すべて平仮名としています。

ドローイング作品シリーズ「flow-er」は、人体の一部と花とが墨と蜜蝋着色で艶麗に描かれます。ドローイングで描かれる花と人体内臓のモチーフも、アニメーションで描かれる「お初／金子美保」と「徳兵衛／清水祐一」のモチーフであるソファとテーブルも、見えているのは容器のみ、つまり切り取られた花であり、臓器の一部であり、家具という「器」のみが、切り取られた時間の中で描かれます。

東芋はこう言っています。「花を摘み取って切り花にすること、臓器を器にすること、ある人の人生の一部分を小説や絵、映像に描くことは、この『息花』展では同じイメージを持ち、私がお届けするのは、その切り取った一部でしかないけれど、花には根が付いていること、臓器が魂を宿して息をしていたときのこと、ある人の描かれた人生の一時期の前後に続きがあることを想像して、すべての作品を作っている。」

オープニングには作家も来廊いたします。

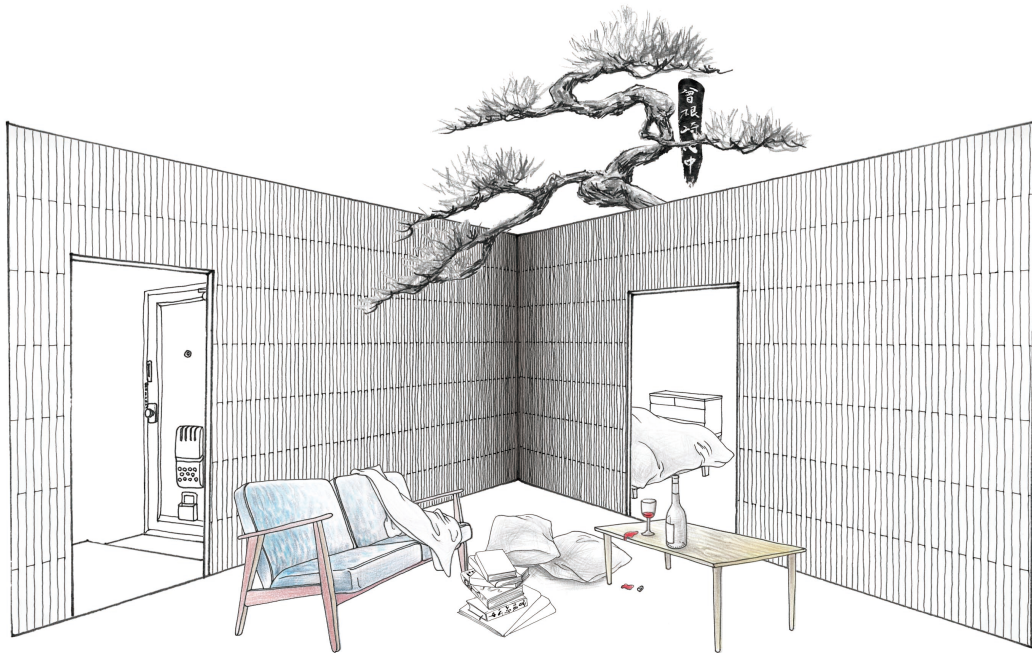
ぜひこの機会にご高覧いただけますよう、ご案内申し上げます。

資料および図版のご請求は、下記担当者までご連絡ください。

ご掲載の際にはご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【広報用図版】



キャプション（日本語表記）： 束芋  
あいたいせいじょせい  
（参考イメージ）  
2015年  
映像インスタレーション

キャプション（英語表記）： Tabaimo  
aitaisei-josei  
2015  
video installation

クレジットライン： (c) Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi

### 【作家プロフィール】

束芋（たばいも）

現代美術作家

1975年生まれ。1999年京都造形芸術大学卒業制作としてアニメーションを用いたインスタレーション作品「にっぽんの台所」を発表、同作品で麒麟・コンテンポラリー・アワード最優秀作品賞受賞。以後2001年第1回横浜トリエンナーレを皮切りに、2011年には第54回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家に選出される等、数々の国際展に出品、注目を集める。主な個展に「ヨロヨロン」（2006／原美術館、東京）、「TABAIMO」（2007／カルティエ現代美術財団、パリ）、「断面の世代」（2009／横浜美術館、2010／国立国際美術館、大阪）、「MEKURUMEKU」（2014／MCAオーストラリア、シドニー）。近年は舞台でのコラボレーションも展開、2012年浜離宮朝日ホール20周年記念コンサートでパスカル・ロジェと映像と音楽のコラボレーション、2013年森下真樹と共同演出の『錆からでた実』、杉本博司脚本・演出の人形浄瑠璃『曾根崎心中』へのアニメーション参画など多岐に亘る。長野県在住。

### 【展覧会概要】

展覧会名：束芋：息花

会期：2015年2月14日（土）～4月4日（土）

〔オープニング・レセプション 2月14日（土）18:00～20:00 作家来廊〕

開廊時間：11:00～19:00 日月祝は休廊

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座1-7-5小柳ビル8F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A9出口より徒歩5分

URL：<http://www.gallerykoyanagi.com>

お問い合わせ／写真請求先：ギャラリー小柳 （担）橋口、清水